

人類文化学科生のみなさんへ

2019年度「フィールドワーク（文化人類学）Ⅰ，Ⅱ」（国内・海外）説明会について

文化人類学を学ぶ上で、フィールドワークはとても重要な意味をもっています。フィールドワークでは、フィールド（現地・現場）に一定期間滞在し、参与観察をおこなったり、インタビューをしたり、あるいは博物館などで実際にモノに接しながら学習することで、体験的に文化や社会について学びます。「フィールドワーク（文化人類学）Ⅰ，Ⅱ」は、こうしたフィールドワークの醍醐味を学生のみなさんにも体験していただくという趣旨の授業です。

授業は、クォーター1～4の学内での通常の授業と、夏休みを利用した1～2週間ほどの学外授業とを組み合わせるものとなります（授業は通年で4単位）。学外での現地調査実習を、それに前後する学内でのゼミ形式の研究によって補うことで、デスクワークとフィールドワークとの往復作業という、人類学の根本的な研究スタイルを学んでいきます。そして年度末には、1年かけて調べた内容を報告書にまとめる作業をおこないます。

2019年度は2クラス（国内・海外）を開講する予定です。

1）クラス1（海外・西江清高担当）は、中国（陝西省西安市周辺）で考古学を中心とした調査実習を行います。

2）クラス2（国内・石原美奈子担当）は、東海3県内で調査実習を行います。2018年度は三重県鳥羽市菅島で調査実習を行いました。2019年度も愛知県か三重県の町村で調査を行う予定です。

それぞれのクラスによって、研究テーマ、学外授業の実施日程、学内での授業の進め方、報告書のとりまとめにいたる作業の手順、などは若干異なります。ただいずれも、履修者の負担は通常の授業に比べておおきなものとなります。また、学外授業における旅費・滞在費・資料購入費をはじめとして、授業に参加する上で必要となる出費は、原則すべて履修者の個人負担となります。

またこの授業は予備登録を行いますので、関心のある学生は下記の説明会に必ず出席してください。意欲ある学生の参加を希望しています。

授業担当予定者一同

記

フィールドワーク全体説明会

1）開催日時：2018年12月5日（水）12:45～13:15

2）場所：R56教室

*なお、中国で学外授業を実施する予定の「フィールドワーク（文化人類学）」（西江担当）については、上記の説明会に出席するほかに、1週間後に実施する下記の詳細な説明会にも出席してください。

1）開催日時：2018年12月12日（水）15:30～

2）場所：R61教室

以上

問い合わせ先：人類文化学科合同研究室
（第一研究室棟4階）